

糖尿病・内分泌内科学

[M6-70046P1]

1 臨床実習の概要

糖尿病・内分泌内科学実習では主に糖尿病および各種内分泌疾患を持つ患者の診療に積極的に参加し、担当した患者の病歴、身体所見、検査結果などの情報から疾患の病態を理解し、最新の知識に基づき診断、治療方針の作成を行う。医療チームとして連携し、患者を尊重した医療を学ぶ。代表的疾患について症例によるケーススタディも履修し、関連のユニット講義の到達目標も合わせて達成するように進める。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ①豊かな人間性と倫理観
- ②生涯学習
- ③医学知識と技術
- ④患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥科学的態度・探究心

3 臨床実習の学修成果（アウトカム）

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 担当患者ならびに関わる多職種と良好な人間関係をつくることのできる（①④）
- 代謝・内分泌領域の疾患を通して疾患を探究する方法論（文献検索と理解など）を実践できる（②③⑥）
- 代謝・内分泌領域の疾患の症例を自ら学び、まとめ、症例提示をすることができる（③⑥）
- 代謝・内分泌領域の疾患の患者を通して…
 - ・ 医療面接、身体診察など基本的な情報収集ができる（③）
 - ・ 収集した情報から臨床問題の提示、主要な鑑別診断を挙げることができる（③）
 - ・ 臨床的諸問題に対して初期計画（診断、治療、教育）を立案できる（③）
 - ・ 主要な症候・疾患における病態生理、組織学的・臨床的特徴、診断基準を説明できる（③）
 - ・ 主要な症候・疾患における必要な検査、治療、合併症、予後の要点を説明できる（③）
 - ・ 基本的な検査を実施し、結果を解釈できる（③）

- 代謝・内分泌領域の医療に関わる…
 - ・ 多職種・チーム医療に学生として参加できる (④)
 - ・ 社会制度 (厚生医療など) を説明できる (④⑤)

※主要な疾患、症候、検査、治療

症候

肥満、やせ、高血糖、多尿、脱水、電解質異常、アシドーシス、しびれ、蛋白尿、腎不全、高血圧、低血圧、頻脈、徐脈、多汗、眼球突出、低身長、巨舌、無月経、性欲低下

疾患・治療

肥満症、メタボリックシンドローム、2型糖尿病、1型糖尿病、膵性糖尿病、ステロイド糖尿病、糖尿病ケトアシドーシス、脂質異常症、高尿酸血症、痛風、全身性アミロイドーシス、ビタミン欠乏症、中枢性性早熟症、低ゴナドトロピン性性腺機能低下症、先端巨大症、クッシング病、下垂体前葉機能低下症、中枢性尿崩症、ADH 不適合分泌症候群、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、副甲状腺機能亢進症、副甲状腺機能低下症、骨粗鬆症、クッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、アジソン病、原発性性腺機能低下症、多発性内分泌腫瘍症

検査・医用機器など

持続血糖モニター、眼底鏡、超音波検査、CT/MRI 検査、ホルモン負荷試験

4 方 略

- (1) 学生 1 人に対し担当医が 1 人つき、担当医の受け持っている患者 2～3 名を担当医の指導のもとで診療する。
- (2) 学生は原則として 9:00～17:00 (月・金曜日は 18:00) までとする。その間、可能な限り担当医と行動を共にする。
- (3) 患者の病歴聴取・診察・検査計画立案およびその評価に参加し、診断へのプロセスを実習するとともにそれに基づく治療計画を立案する。また基本的医行為の範囲内で受け持ち患者の診察・検査・治療などに関する医行為を担当医の指導のもと実際に行う。さらに受け持ち患者に対する看護実習も行う。
- (4) 教授回診時、受け持ち患者に関して報告する。
- (5) 最後の週には受け持ち患者の経過をまとめレポートする。抄読会や症例検討会に参加して、受け持ち患者について報告と、他の症例の討論に加わる。
- (6) 外来では短時間のうちに患者から多くの情報を得て、的確に病歴の聴取と診察ができるようにする。
- (7) 検査内容をさらに深く理解するため、ホルモン測定を中心に検体の処理方法と測定

方法を習得する。

- (8) 内分泌・代謝に関わる基礎実験のプロトコール作成と必要な手技を習得する。
- (9) 拘束時間は自己学習とするが、連絡先を明らかにしておき、緊急時には原則として立ち会う。

5 事前事後学修について

糖尿病、副腎疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、下垂体疾患について、病態生理及び診断・治療法を予習しておくこと。

【自己学習（事前事後学修）に必要な時間】

実習1日あたり 予習：60分 復習：60分

6 課題（実習中の課題やレポート等）に関するフィードバック

担当症例についてカンファレンスでプレゼンテーションし、質問に答える。

7 評価

評価項目	評価割合
臨床実習出席（出席表）	60 %
実習レポート（担当症例のレポート）	10 %
担当患者症例提示	10 %
口頭試問	10 %
その他	10 %
上記の評価項目を別途定めた臨床実習の評価基準に沿って判定する。	

8 実習スケジュール

別項参照

9 教育担当者

実習責任者：熊代 尚記（糖尿病・内分泌内科学）

担当教員：熊代 尚記、竹田 安孝

10 参考図書・文献

購入すべき図書

1. 朝倉内科学 第12版 朝倉書店

糖尿病・内分泌内科学

2026年 第6学年 臨床実習スケジュール表

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	14:30	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
第1週													
月		オリエンテーション [熊代・竹田]						カンファレンス 回診 5F東 カンファレンス ルーム [熊代・竹田]			医局会		
火			外来実習 糖尿病・内分泌外来 [竹田] (2名)							ミニ カンファ レンス 医局 [熊代・竹田]			
水						外来実習 糖尿病・内分泌外来 [熊代] (1名)		若手症例検討会 [熊代]					
木			外来実習 糖尿病・内分泌外来 [竹田] (1名)							ミニ カンファ レンス 医局 [熊代・竹田]			
金			国試対策講義										
土													

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	14:30	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
第2週													
月								カンファレンス 回診 5F東 カンファレンス ルーム [熊代・竹田]			医局会		
火			外来実習 糖尿病・内分泌外来 [竹田] (2名)							ミニ カンファ レンス 医局 [熊代・竹田]			
水						外来実習 糖尿病・内分泌外来 [熊代] (1名)		若手症例検討会 [熊代]					
木			外来実習 糖尿病・内分泌外来 [竹田] (1名)							ミニ カンファ レンス 医局 [熊代・竹田]			
金			国試対策講義										
土													

実習第1日目の集合場所・時間：臨床研究棟7階 糖尿病・内分泌内科学 医局・午前8時30分

- ・第1週目の月曜日が祭日の場合、オリエンテーションは火曜日朝行います。(8:30糖尿病・内分泌内科学医局)
- ・予定は変更されることがあり、その場合は各担当医から連絡があります。
- ・秘書室前に掲示する連絡事項を毎日確認し、出欠のサインを記入ください。
- ・指導医が不在の日を確認し、代行指導医を確認してください。
- ・スケジュール上の空き時間においても、担当症例に関するディスカッションを適宜指導医と行ってください。
- ・救急患者の診療にも積極的に参加してください。
- ・実習の欠席時について：当日8:45までに連絡フォームへの入力と秘書室へのメールまたは電話連絡をすること。
- ・CC-EPOCを確認ください。